



2012年国際航空宇宙展

Japan International Aerospace Exhibition



一般社団法人 日本航空宇宙工業会

はじめに

2012年10月9日から14日まで、「2012年国際航空宇宙展(JA2012)」を愛知・名古屋で初めて開催します。

JA2012は、国内外の航空・宇宙関連分野の企業・団体を一堂に集めたアジア最大規模の国際展示会です。

展示会は、トレードの促進や航空・宇宙関連分野産業の振興、同産業に対する国民の皆様から、ご理解を頂くことを目的としています。

開催にあたっては愛知県・名古屋市・中部国際空港(株)をはじめ、開催地各団体の多大な協力をいただき、準備を進めております。

主催者 一般社団法人 日本航空宇宙工業会

- ◆ **英文呼称:** The Society of Japan Aerospace Companies (略称はSJAC)
- ◆ **会 長:** 長谷川 聡 (川崎重工業株式会社 取締役社長)
- ◆ **歴 史:** 昭和27年(1952年)、我が国の航空工業の再開を機に航空工業懇談会として発足しました。昭和49年(1974年)、宇宙分野を加え今日に至っています。
- ◆ **設立目的:** 航空宇宙機器の生産の振興と貿易の拡大を通じて航空宇宙工業の健全な発展に貢献することです。
- ◆ **会員企業数:** 正会員91社 賛助会員48社

〈SJAC組織案内資料参照〉

第13回 2012年国際航空宇宙展(JA2012) 概要

- ◆ **正式名称:** (和文)2012年国際航空宇宙展
(英文)Japan International Aerospace Exhibition
- ◆ **愛称:** (和文)ジャパンエ アロスペース2012 (略称/JA2012)
(英文)Japan Aerospace 2012
- ◆ **会期:** 2012年10月9日(火) ~ 14日(日)
- ◆ **会場:** 名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)
トレードデー 9日(火) ~ 12日(金)
パブリックデー 12日(金) ~ 14日(日)
中部国際空港(セントレア)
パブリックデー 12日(金) ~ 14日(日)

〈JA2012概要説明パンフ参照〉

第13回 2012年国際航空宇宙展(JA2012) 関連団体

◆後援

〈官公庁〉

経済産業省、総務省、国土交通省、防衛省、文部科学省、外務省、観光庁、
内閣官房宇宙開発戦略本部

〈各国大使館〉

米国、カナダ、欧州委員会代表部、イギリス、フランス、スペイン、オランダ、イタリア、ベルギー、
オーストリア、スイス、ドイツ、ウクライナ、ルーマニア、チェコ、イスラエル、トルコ、中国、韓国、
インド、マレーシア、インドネシア、メキシコ、コスタリカ、モロッコ、ポーランド

〈各種団体〉

独立行政法人宇宙航空研究開発機構、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
独立行政法人日本貿易振興機構、台湾貿易センター、チェコインベンスメント
香港経済貿易代表部、アイルランド政府商務庁、ロシア通商代表部
(一社)日本工作機械工業会

◆特別協力

・JA2012愛知・名古屋支援会議

[愛知県、名古屋市、常滑市、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所、(社)中部航空宇宙
技術センター、(公財)名古屋産業振興公社、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー]

・中部国際空港株式会社

〈JA2012概要説明パンフ参照〉

開催規模

- ◆ 出 展 数: 665社・団体 (9月25日現在)
33カ国
- ◆ 海 外 総 数: 196社・団体(9月25日現在)
アメリカ69社、ポーランド16社、韓国14社、
フランス12社、台湾12社など
- ◆ 展示会場面積: 27,000㎡
- ◆ 予定入場者数: ポートメッセなごや会場 約4万人
セントレア会場 約5万3000人
合計9万3000人

<プレスリリースJA2012-1A参照>

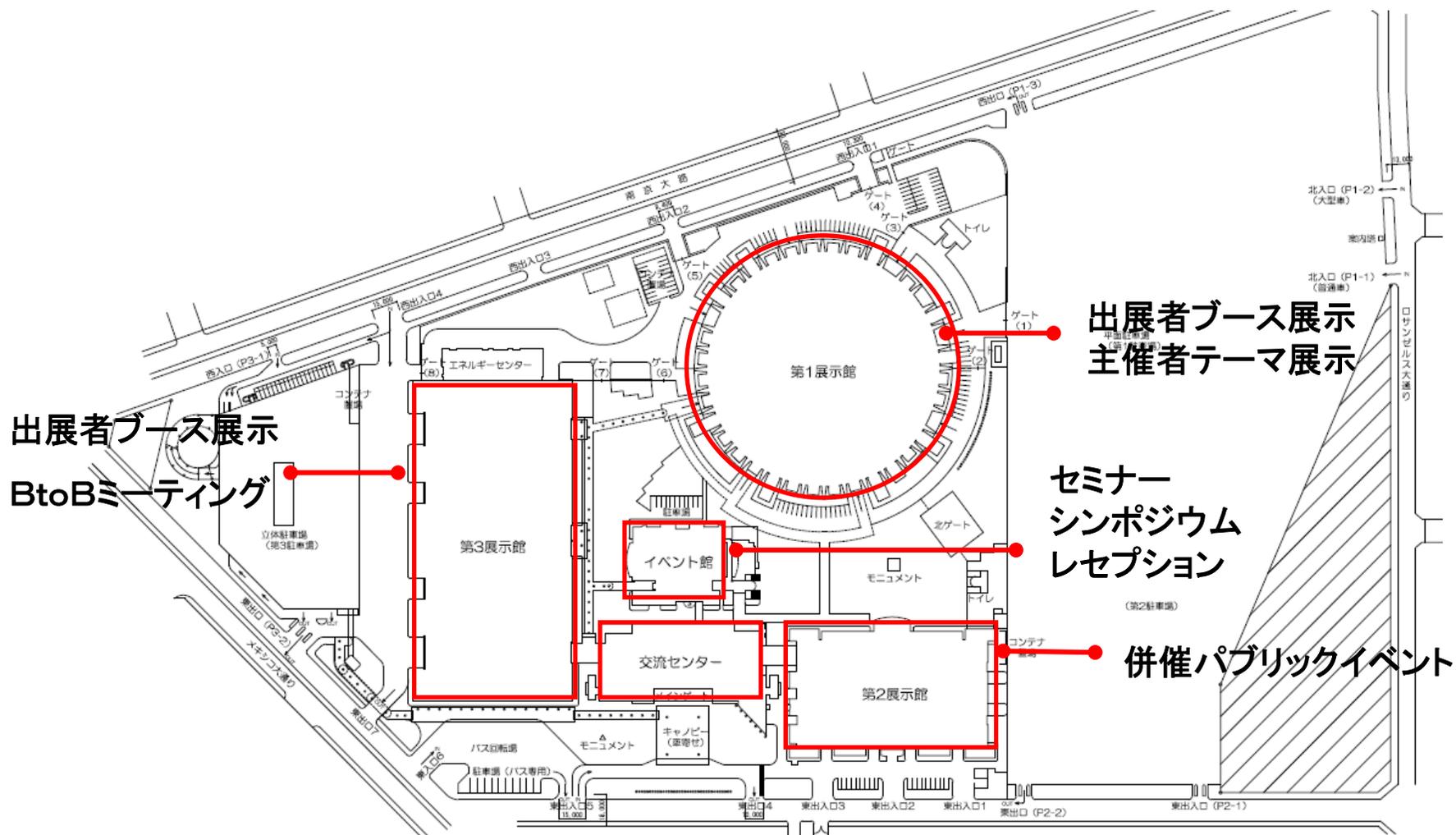
国際航空宇宙展の歴史

◆開催履歴

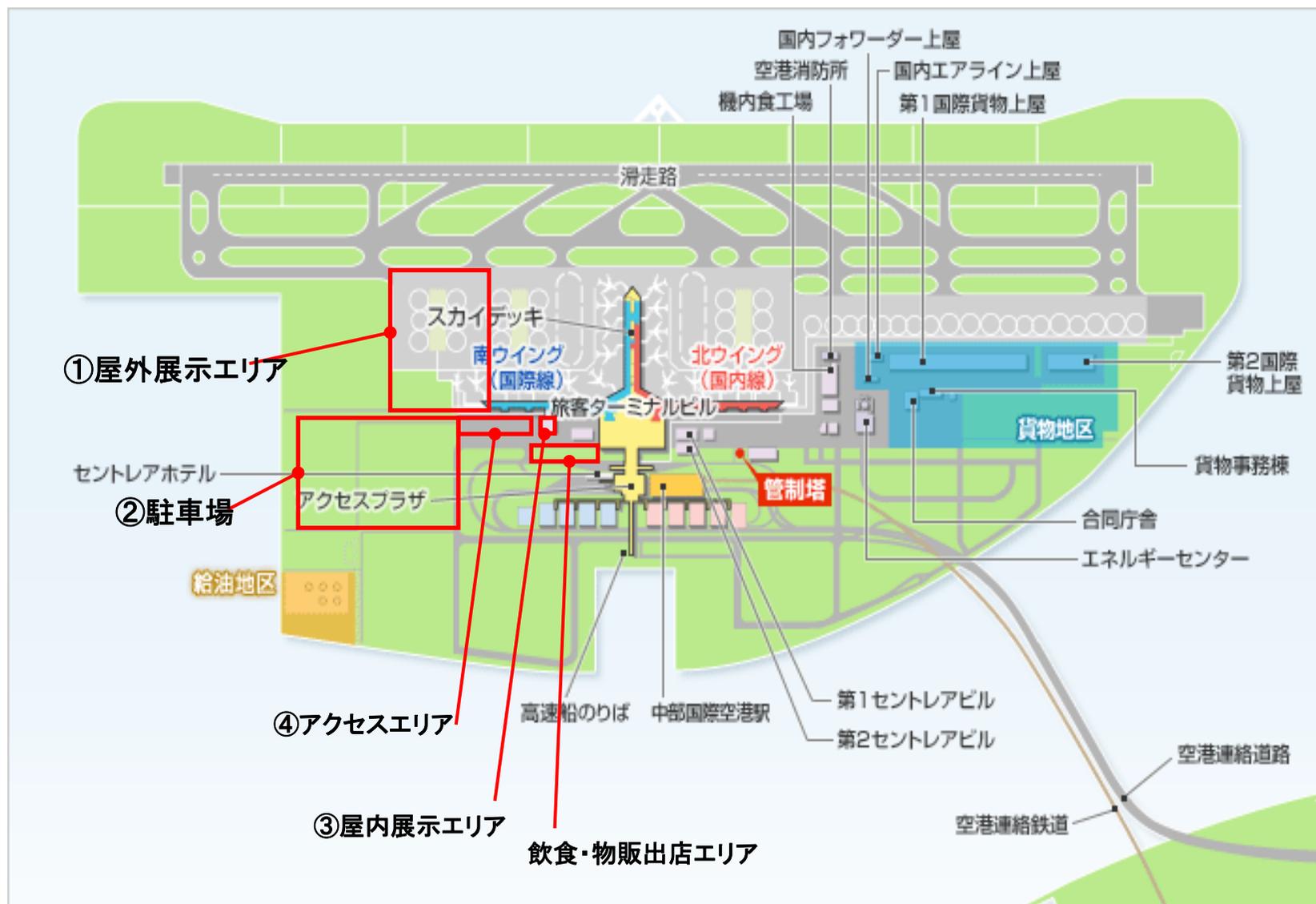
回数	開催年	開催場所	参加国	参加団体数	来場者数
1	1966年(昭和41年)	航空自衛隊入間基地	2カ国	42	38万人
2	1968年(昭和43年)	航空自衛隊入間基地	6カ国	96	50万人
3	1971年(昭和46年)	航空自衛隊小牧基地	8カ国	177	50万人
4	1973年(昭和48年)	航空自衛隊入間基地	8カ国	119	61万人
5	1976年(昭和51年)	航空自衛隊入間基地	8カ国	123	48万人
6	1979年(昭和54年)	航空自衛隊入間基地	9カ国	122	27万人
7	1983年(昭和58年)	航空自衛隊岐阜基地	7カ国	110	43万人
8	1991年(平成3年)	幕張メッセ	10カ国	259	8万人
9	1995年(平成7年)	幕張メッセ	21カ国	282	8.4万人
10	2000年(平成12年)	東京ビックサイト	24カ国・地域	297	11万人
11	2004年(平成16年)	パシフィコ横浜	24カ国・地域	343	11万人
12	2008年(平成20年)	パシフィコ横浜	22カ国・地域	528	4.2万人*
13	2012年(平成24年)	ポートメッセなごや＋セントレア空港	31ヶ国・地域	約610以上	9.3万人(予定)*

*カウント方法を前回までの延入場者数からネットカウントに変更

会場図(ポートメッセなごや会場)



会場図(中部国際空港セントレア会場)



トレード展示会(10月9日～12日)の魅力

◆世界の大手航空宇宙企業のブース出展

- ・ボーイング、EADS、エアバス、ユーロコプター、ローキッドマーチン、レイセオン、ボンバルディア、P&W、タレス、ハネウェル、アルコア社など

〈フロアプラン参照〉

◆世界の航空宇宙工業会や大使館のブース出展

- ・アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、カナダ、メキシコ、ウクライナ、ポーランド、チェコ、韓国、マレーシア、シンガポール、台湾など

〈フロアプラン参照〉

◆ビジネスの創出支援(ビジネスマッチング企画)

- ・会期中5,000ミーティングの実施ができるようシステム構築。
- ・国内外主要製造会社による調達ポリシーのプレゼンを実施。
- ・航空宇宙展でのビジネスマッチングの専門企業(フランスBCI社)を活用。

〈BtoBパンフ参照〉

◆セミナー・シンポジウムの充実

- ・基調講演、特別講演ほか16分野、約90の講演のほか、国連会議や国際会議を実施。
- ・例えば国内の関連省庁による将来展望の講演、防衛、宇宙、革新技術、環境技術等をテーマとしたセミナーを実施。
- ・海外の欧米工業会や主要企業の幹部による現況や将来戦略の講演を実施。

〈プレスリリースJA2012-4参照〉

パブリックイベントの例(ポートメッセ会場その1)

＜ 中高生向け館内ガイドツアー＞

・10月12日(金)13日(土)11:00、14:00

将来の航空宇宙産業を担う中高校生を対象として、実際のトレード展示のようすをみてもらうと共に、展示場内を案内しながら説明を行うガイドツアーを行う。



パブリックイベントの例(ポートメッセ会場その2)

< 宇宙飛行士 野口聡一氏 講演会 >

- ・開催日:10月13日(土)
- ・時間: 14:00~15:00
- ・場所:ポートメッセなごや 3F会議ホール



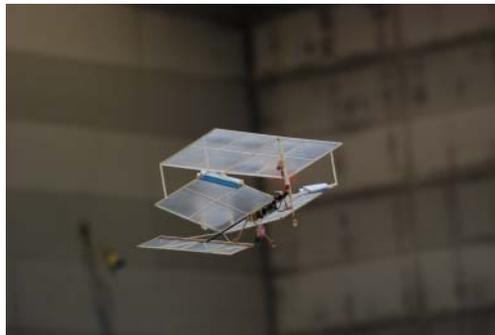
パブリックイベントの例(ポートメッセ会場その3)

<第8回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト>

日本航空宇宙学会主催

大学等での航空工学教育の推進のために、室内で遠隔操縦可能な航空機を設計製作し、飛行を競う学生によるコンテストを開催します。

- ・開催日時:10月13日(土)13:00開会式~17:00
14日(日) 13:00~16:30閉会式
- ・場所:第2展示館
- ・主催:一般社団法人 日本航空宇宙学会
- ・共催(予定):特定非営利法人 大田ビジネス創造協議会
宇宙航空研究開発機構(JAXA)



パブリックイベントの例(セントレア会場その1)

<地上展示>

- ・日本で開発された航空機
民間機: MU-300、FA-200、BK-117
自衛隊機: C-1、T-4、T-7、OH-1、UH-1



- ・国際共同開発してきた航空機
ドリームリフター(B747)
グローバルエクスプレス



- ・消防、防災、検査など目的別の航空機
消防機、海上保安庁機、飛行検査機、報道機、測量機、ドクター機、
ビジネスジェット機、教育訓練機等々

<飛行展示>

- ・ブルーインパルス(飛来)、OH-1、UH-1、
SH-60、BK-117、SA365、EC-135等



<プレスリリースJA2012-2A参照>

パブリックイベントの例(セントレア会場その2)

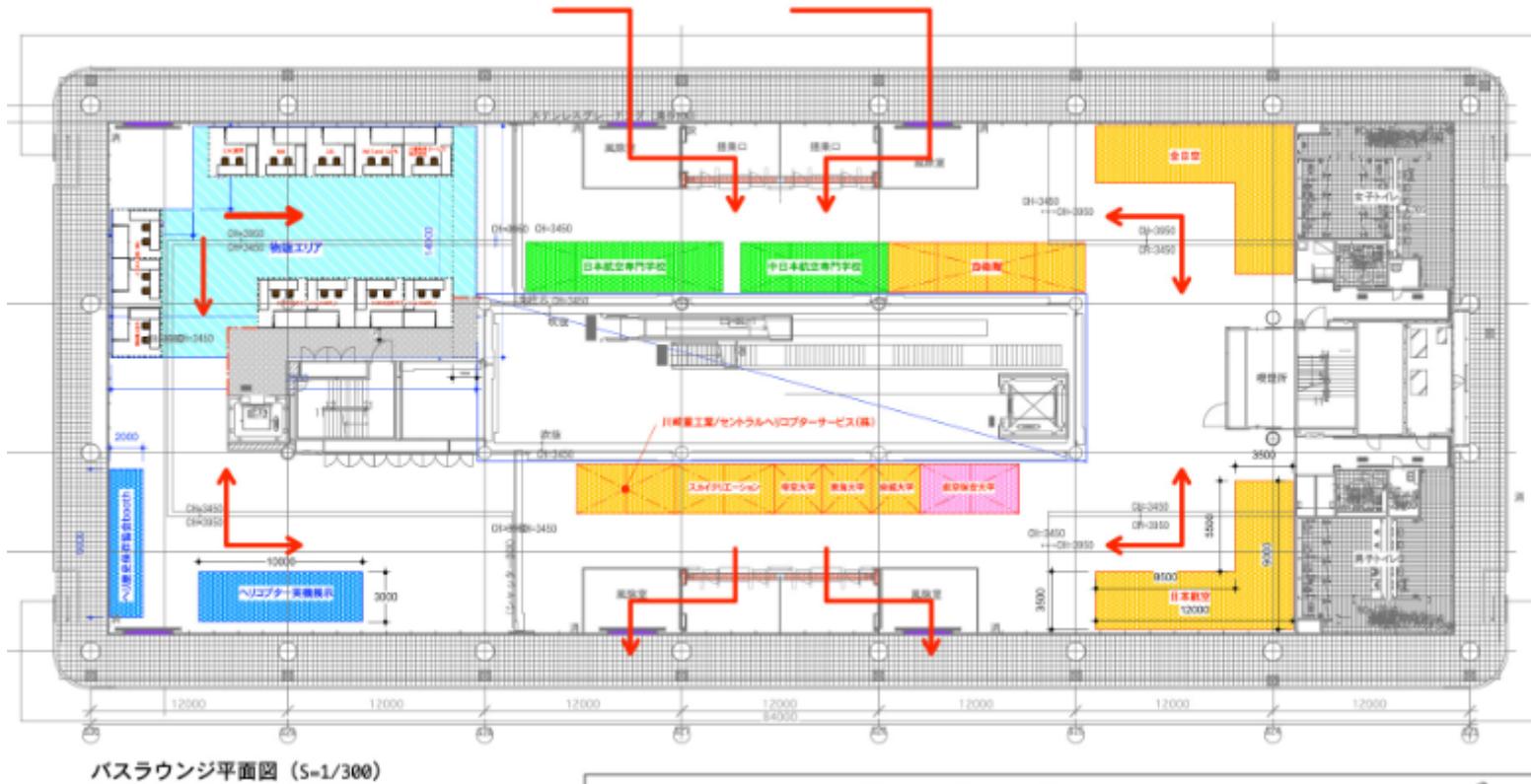
<職業紹介>

- ・航空宇宙関連の職業紹介や、そのためのキャリアパスを理解できる場を設定することを目的に、企業、団体、大学、専門教育機関等のブース展示や教育器材(実機含む)の展示を行います。
- ・職業の種類
操縦士、整備士、航空管制官、航空管制運航情報官、航空管制通信官
航空管制技術官、飛行検査官、航空灯火・電気技術官、航空衛星運用官
機内通信員救難員、客室乗務員など
- ・出展企業、団体
日本航空、全日空、ユーロコプタージャパン、航空保安大学校、
東海大学、帝京大学、崇城大学、スカイクリエーション、
日本ヘリ操縦士協会、中日本専門学校、日本航空専門学校、
羽田航空宇宙科学館、ヘリ歴史保存協会、自衛隊 ほか



パブリックイベントの例(セントレア会場その2)

<屋内展示 職業紹介エリア>



パブリックイベントの例(セントレア会場その3)

<ブルーインパルスパイロットサイン会>

・13日(土)及び14日(日) 11:00~11:30

ブルーインパルス機の飛来前にエプロン周辺にて
ブルーインパルス機の現役パイロットによるサイン会を実施します。

<T-4航空機の設計者、操縦者のトークショー>

あいちサイエンスフェスティバル主催

・13日(土)15:00~18:00

一般の方を対象に、T-4を通じ、開発の歴史や運用に関するテーマで
専門家と触れ合う機会を設定。

<セントレアまるわかり滑走路見学コース>

セントレア空港(株)主催

・12日(金)13:00, 15:15

13日(土) 14日(日)9:15, 13:00, 15:15

期間中、滑走路の周回道路をバスにて周り、日頃見れない空港施設や飛行機を
ターミナルの反対側から見学できるツアーを同時開催。

入場券について

<販売期間>

- ・前売券 8月1日～ 公式オンラインチケット<イーテックス>及び各機関で販売中
但し名鉄フリー切符とのセット販売2,500円は9月15日(土)～販売予定。

<料金と販売機関>

ジャンル	種別	前売り	当日
トレード 〈イーテックス〉	1日券	¥1,500	¥1,700
	通し券	¥5,000	¥6,000
パブリック 〈イーテックス〉 〈チケットぴあ端末〉 〈セブンイレブン端末〉 〈ファミリーマート端末〉 〈ローソン端末〉 〈サークルK端末〉 〈名鉄、近畿日本ツーリスト窓口〉 〈各展示会場〉	1日券大人	¥1,000	¥1,200
	1日券中高	¥500	¥600
	フリー券大人	¥1,800	
	フリー券中高	¥900	

<プレスリリースJA2012-3参照>